

開成の杜

第116号 ●2021年10月11日 ●郡山女子大学大学院 ●郡山女子大学 ●郡山女子大学短期大学部 ●郡山女子大学附属高等学校 ●郡山女子大学附属幼稚園

●発行所／学校法人郡山開成学園 〒963-8503 郡山市開成3丁目25番2号 ☎024(932)4848(代) <https://www.koriyama-kgc.ac.jp> ●発行人／学園長 関口 修



笹山原遺跡の発掘調査

東京五輪でエスコート役を務めた附属高校新体操部

附属幼稚園のバケツ稲栽培

(撮影 山口郁生)

時間の経過と共に、オリンピックやパラリンピックの成果が次第に忘れられようとしているように思えるのは筆者ばかりでしょうか。

目まぐるしく新たな事が起き、戸惑う日々ですが、学生・生徒の皆さんはオリンピックやパラリンピックから何を学んだのでしょうか。

筆者には障害者であれ健常者であれ、皆が素晴らしい精神力で鍛え上げた自己を懸命に披露した清々しい態度に感動し、人間の存在意義を美しいと考えさせられました。

その学びの一端として、パラリンピックから学んだことを記します。

前途多難な障壁を克服し、自己発揮の未来にチャレンジし、苦労に苦勞を重ねて築き上げた身体を同じ経験を乗り越えた世界の朋友と競い合い、友情を深める姿には、我が身の稚拙さを反省するばかりでした。

人間には絶望の極みにあっても可能性は残されていることです。「災い転じて福となす」とか「神は自ら助くる者をたすく」の故事や、これと同じ説話は世界各地にみられます。

それは、いかなる絶望の淵にあらうとも努力を続けられれば、救いの手が差し伸べられ



理事長・学園長
関口 修

美しい笑顔は努力の賜物

るものだとの言い伝えです。この様な思いはパラリンピックに出場した全てのアスリートから教えられました。彼らの鍛え上げた精神と肉体は不可能を可能に変えた結果と理解しました。そこに至るまでの努力は計り知れるものではなく、唯々驚嘆し神々しさを覚えました。彼らが競技に集中している表情を見ると少しの緩みもなく、誠に厳しい凛とした美しさに苦難を克服した気高さがありました。競技終了後には嘘え敗れても清々しい悔し涙を流したのちに、晴れ晴れとした笑顔があり、見る人に感動を与えたのではないのでしょうか。

古来、「艱難汝を玉と為す」と云う格言があります。まさにその通りで、いかなる人の心にも素晴らしい人生の教えとなったと思います。

翻って、コロナ禍が猛威をふるい、未来への見通しが危うくなりかけた人々の不安を安らげるのにパラリンピックの影響が大きく作用したように思います。彼らの振舞いは無言の教えであつたと感謝しています。

人は人の助けを借りて生き、人を助ける喜びで己を磨き向上してゆくものではないかと考えます。

現代の社会を俯瞰的に見ると、人類が古来培ってきた協調融和を忘れたかの如き言論の自由に依拠した自分勝手な振舞いや、個人擁護に傾倒している姿を見ますが、パラオスリートのように見習うべきではないのでしょうか。

新型コロナウイルスワクチンを職域接種

学生・教職員ら1000人

福島県内の大学で初となる新型コロナウイルス感染症のワクチン職域接種が7月と8月に本学で行われた。

国の感染症対策の柱となるワクチン接種が自治体だけでなく、企業・団体、大学などを中心



職域接種でワクチンの注射を受ける学生

心に推進されたのに呼応し、いち早く準備を進めた。本学の産業医を務める星総合病院の協力で、医師と看護師の派遣を受けた。

職域接種で使用されるモデルナ製ワクチンは当初、18歳以上を対象にしたため、大学と短期大学の学生と教職員から希望者を募った。さらにワクチンは1000人以上での供給とされ、教職員の家族や地域住民にも対象を広げた。

接種は建学記念講堂を会場に、7月1、2、5、6日と4週間後の8月3、6日の2回にわたって行った。医師の問診で接種可能と判断された希望者は、看護師から注射を受けた。接種後の経過観察に医師や看護師の資格を持つ本学の教職員も



医師らの問診を受ける接種希望者

当った。

学外での実習を控える学生は「実習先で万が一、移したり移されたりという心配も和らぎそう」と思いを語った。

14名を永年勤続表彰

郡山開成学園の令和3年度永年勤続表彰は9月1日、学内で行われ、勤続20年8名と勤続10年6名を称えた。

該当者と学内理事が出席。関口修理理事長がそれぞれ表彰状と祝金を手渡し、挨拶で労をねぎらった。該当者を代表して石原正道さん(大学・教授)が謝辞を述べた。

永年勤続者は次の通り。

▽20年 石原正道(大学・教授) 福田智美(高校・教諭) 大泉雄高(同・教諭) 佐藤浩平(事務局・経理部) 安斎文明(同・管財部) 仲村美紀子(同・図書館) 小林樹里(同・家庭寮) 五十嵐理恵(同・放送大学)



永年勤続20年の皆さん



永年勤続10年の皆さん

出向)

▽10年 影山志保(大学・准教授) 一柳智子(短大・教授)

黒沼令(同・講師) 米本順子(同・助手) 三瓶久常(高校・教諭) 湯田宏恵(事務局・幼稚園)

大西教授がコロナ禍の心構えと対応語る

第1回教養講座

今年度第1回教養講座は6月16日からリモート配信で行われ、大学食物栄養学科の大西弘太郎教授(医学博士)が「コロナ禍における日常生活の心構え」と題して講演した。

大西教授は、感染症に関する基本的な知識や過去の例などを挙げ、新型コロナウイルスが世界中に広まった経緯を説明した。新型コロナウイルスの症状や感染しやすい状況などに触れ、予防策や感染した際の対応を詳しく述べた。

講演は動画に収録され、大学・短大各学科での集会、附

就職部より

今年度のインターンシップは新型コロナウイルスにより、昨年よりも受け入れが厳しく、変更を余儀なくされるケースが多くあった。3日間に縮小してのインターンシップだったが、学生の為にプログラムを組み丁寧な対応を頂いた、受け入れ先の皆様には厚く感謝申し上げる。

インターンシップ先での学生は、緊張しながらも真摯に取り組む姿は爽やかで、変化する社会の中で学び、更に成長してほしい。受け入れ先では、卒業生が広く活躍しており、協力を依頼してインターンシップを実施した所もあり、頼もしく心強い存在であった。今後も地域企業との連携を図り、よりよいインターンシップを実施していきたい。

9月2日の報告会では、現実とイメージの違いやコミュニケーションの大切さを実感した報告が多く見受けられた。学生が自分に不足している課題も明確

属高校の全校集会で学生・生徒が熱心に聴講した。



リモート配信で講演する大西教授

になり、「何故・どのように」という疑問を持ったようだ。実情を知ることができ、疑問が増え、自分で考えることが思考力を鍛え、課題解決のために試行錯誤を繰り返すことに繋がる。自分の価値を自分で築く努力が問われ、これからの大きな世の中の変化を乗り越えるために、より深くしっかりと学び、そのきっかけを大学でつかみ成長する事を期待している。生き方やキャリアは自ら選択できる時代である。



就労体験に真摯に取り組む学生たち

NEWS 学園ニュース

影山氏が学会名誉会員に

大学の影山彌名誉教授は、このほど日本家政学会家政学原論部会から名誉会員の称号を贈られた。写真。多年にわたる家政学原論の研究・教育と部会の活動に貢献したことを称えられた。

影山氏は昨年3月の退官まで本学の教壇に立ち、故関口富左名誉学園長が構築した「家政哲学」の教えを説いた。



影山氏に贈られた名誉会員証

「家庭寮のご案内」を更新

家庭寮の入寮希望者に配る「家庭寮のご案内」が更新された。写真。充実した学園生活を支える施設の紹介や寮生の交流の場となる各種イベント、寮生のメッセージ、寮費、周辺マップなどを掲載している。

「ご案内」に関する問い合わせは家庭寮事務室 電話024(932)4973へ。



更新された「家庭寮のご案内」

2022年度 入学者選抜日程

大学・短期大学部	選抜種類		出願期間		選抜日	合否通知発送日	入学手続き締切日
	総合型選抜	Ⅰ期 Ⅱ期 Ⅲ期	専願	併願			
大学・短期大学部	総合型選抜	Ⅰ期	専願		9月13日(月)～10月1日(金)	10月16日(土)	10月22日(金)
		Ⅱ期	専願		11月16日(火)～12月2日(木)	12月11日(土)	12月17日(金)
		Ⅲ期	専願		2月7日(月)～2月18日(金)	2月26日(土)	3月4日(金)
	指定校推薦	Ⅰ期	専願		10月12日(火)～10月26日(火)	11月6日(土)	11月16日(火)
		Ⅱ期	専願		10月12日(火)～10月26日(火)	11月6日(土)	11月16日(火)
		Ⅲ期	専願		11月16日(火)～12月2日(木)	12月11日(土)	12月17日(金)
	公募推薦	Ⅰ期	専願		10月12日(火)～10月26日(火)	11月6日(土)	11月16日(火)
		Ⅱ期	専願		11月16日(火)～12月2日(木)	12月11日(土)	12月17日(金)
		Ⅲ期	専願		3月7日(月)～3月14日(月)	3月19日(土)	3月25日(金)
	専門学科・総合学科推薦	Ⅰ期	専願		10月12日(火)～10月26日(火)	11月6日(土)	11月16日(火)
		Ⅱ期	専願		11月16日(火)～12月2日(木)	12月11日(土)	12月17日(金)
		Ⅲ期	専願		10月12日(火)～10月26日(火)	11月6日(土)	11月16日(火)
	特別特待生	Ⅰ期	専願		10月12日(火)～10月26日(火)	11月6日(土)	11月16日(火)
		Ⅱ期	専願		10月12日(火)～10月26日(火)	11月6日(土)	11月16日(火)
		Ⅲ期	専願		10月12日(火)～10月26日(火)	11月6日(土)	11月16日(火)
大学・短期大学部	社会人・特別選抜	Ⅰ期	専願		10月12日(火)～10月26日(火)	11月6日(土)	11月16日(火)
		Ⅱ期	専願		11月16日(火)～12月2日(木)	12月11日(土)	12月17日(金)
		Ⅲ期	専願		11月16日(火)～12月2日(木)	12月11日(土)	12月17日(金)
	一般選抜	Ⅰ期	併願可		1月11日(火)～1月27日(木)	2月5日(土)	2月14日(月)
		Ⅱ期	併願可		2月7日(月)～2月18日(金)	2月26日(土)	3月4日(金)
		Ⅲ期	併願可		3月7日(月)～3月14日(月)	3月19日(土)	3月25日(金)
	大学入学共通テスト利用選抜	Ⅰ期	併願可		1月11日(火)～1月27日(木)	※2月5日(土)	2月14日(月)
		Ⅱ期	併願可		2月7日(月)～2月18日(金)	※2月26日(土)	3月4日(金)
		Ⅲ期	併願可		3月7日(月)～3月14日(月)	※3月19日(土)	3月25日(金)
	大学入学共通テスト利用選抜	Ⅰ期	併願可		1月11日(火)～1月27日(木)	※2月5日(土)	2月14日(月)
		Ⅱ期	併願可		2月7日(月)～2月18日(金)	※2月26日(土)	3月4日(金)
		Ⅲ期	併願可		3月7日(月)～3月14日(月)	※3月19日(土)	3月25日(金)
	大学入学共通テスト利用選抜	Ⅰ期	併願可		1月11日(火)～1月27日(木)	※2月5日(土)	2月14日(月)
		Ⅱ期	併願可		2月7日(月)～2月18日(金)	※2月26日(土)	3月4日(金)
		Ⅲ期	併願可		3月7日(月)～3月14日(月)	※3月19日(土)	3月25日(金)

◇募集人員

※大学入学共通テスト利用は短期大学部のみ面接等を実施します。

【大学】○家政学部

生活科学科 社会福祉専攻・建築デザイン専攻……40名

食物栄養学科 ……80名

【短期大学部】健康栄養学科 ……70名

幼児教育学科 幼児教育コース ……125名

チャイルドミュージックコース ……15名程度

地域創成学科 ……80名

※大学院人間生活学研究科(4月入学)は修士課程10名、博士課程3名。大学3年次編入は両学科とも各10名。短期大学部専攻科文化学専攻は10名。

2022年度 入学者選考に関する日程 附属高等学校

【附属高等学校】普通科…90名／音楽科…15名／美術科…20名／食物科…35名(昨年度)
■2022年度入学者選考に関する日程一覧

	推 薦 生		特 待 生	一 般 生
	専 願	併 願		
出願 期間	令和4年1月6日(木) 9:00～16:00 1月7日(金) 9:00～12:00 【郵送の場合、令和3年12月14日(火)～令和4年1月7日(金)必着まで】			
選考日	令和4年1月19日(水)		令和4年1月19日(水) 1月20日(木) ※部活動特待生は19日のみ	令和4年1月20日(木)
合格 発表日	令和4年1月26日(水) 12:00			
入学 手続期間	専願推薦生 令和4年1月27日(木)～2月4日(金) 併願推薦生 【第1次】 令和4年1月27日(木) ～2月 4 日(金) 【第2次】 令和4年1月27日(木) ～3月15日(火)		令和4年1月27日(木) ～2月 4 日(金)	【第1次】 令和4年1月27日(木) ～2月 4 日(金) 【第2次】 令和4年1月27日(木) ～3月15日(火)

大学家政学部と短期大学部のオープンキャンパス(OC)は6月から9月まで毎月1回開催され、本学を志望する高校生や編入希望者、その保護者らが訪れた。

昨年からはOCも新型コロナウイルス感染症に対応して、定員を設けた事前申込制で実施している。密を避けるため全員が集まる形を取らず、受付から学科ごとに分かれ繰り広げられた。

参加者は各学科の特色や履修内容、入試制度などの説明

を聴いた。模擬授業は複数の科目から選択する学科もあり、参加者は実習を含む内容を体験して未来のキャンパスライフに思いを馳せている。

これまでの4回で生徒ら768人、保護者ら389人の計1577人が来校した。

次回は来月3月6日(土)に春のオープンキャンパスを予定している。



模擬授業など学園生活の一コマを体験する参加者

今年度の学生募集の一環として、本学を志願する生徒を対象にした来校型の授業体験「ちよとサキドリー女子大生」が6月から9月にかけて各学科で行われた。

オープンキャンパスの模擬授業とは別に、実際の授業に近い形で講義や実習を受けて、理解を深めてもらおうと企画した。土・日曜日の午前や平日のV時限目に当たる時間に各学科で授業を設定した。

郡山市内や周辺の高校生を中心に参加があった。6・7月

10月1日から令和4年度の入園願書受付を開始いたします。今年度も2・満3歳児クラスから年長組まで募集しております。

なお2・満3歳児クラス及び

もみじ会は学内発表で10月23、24日開催

第75回もみじ会は10月23日(土)24日(日)に開催する。

今年も昨年に続き、新型コロナウイルス感染症防止の観点から一般公開は行わず、学内発表の形式で実施する。

大学院、大学の生活科学科各コース、食物栄養学科、短期大学部の健康栄養学科、幼児教育学科、地域創成学科、専攻科文化学専攻、附属高等学校の各学年・学科、附属幼稚園ごと



子どものおやつ作りの実習に励む高校生たち

は健康栄養学科、7月に地域創成学科と生活科学科、8月に幼児教育学科、9月は食物栄養学科が実施し、参加者は積極的に取り組んだ。

年少組(各20名程度)に関しては、園児数の関係で年度途中からの入園について、お引き受けできない場合もございます。ご希望の方はお早めにお問い合わせください。

たくさん遊んで、たくさん考える。幼児期に必要な創造的な思考力を育てます。どうぞよろしく願っています。

に研究や学修の成果を発表する。

発表内容は動画などに収めホームページ上で配信する。

◇ 共催の第214回芸術鑑賞講座「尾形光琳展―京琳派形成と背景―」は10月19日(火)から24日(日)まで建学記念講堂展示ロビーで開催する。入場者は郡山開成学園関係者に限らせてもらう。

高校教諭らに教育内容説明

高校の進路指導担当教諭らを対象にした2022年度大学・短期大学部教育内容及び入学者選抜実施方法等説明会は7月9日に開かれた。

本県のほか山形、栃木両県の32校から40名が参加した。関口修学長が挨拶した後、各学科の主任が教育内容や求める学生の像などを述べた。入学者選抜の方法、奨学金・特待生制度、就職状況も説明した。

個別面談と施設見学も受け付けた。面談では参加した教諭が、生徒の希望する学科の担当者から志願先を決める上での情報や受験前の準備などについて聴いた。

がんばる!! われら 附属高校 運動部 文化部

今年度、附属高校の運動部と文化部は活発な活動を続けています。2年ぶりの全国高校総合体育大会(インターハイ)などを目指した成果や、自らを磨き仲間とともに努力する日々を追った。

バレーボール部

インターハイ・バレーボール競技は石川県金沢市で行われました。本校は予選グループ戦において松山東雲高校(愛媛県代表)と対戦し、2-0で勝利しました。決勝トーナメントへ進出し、佐賀清和高校(佐賀県代表)と対戦しました。フルセットの接戦の末、1-2で敗れました。憧れのインターハイにおいて、随所に本校らしいプレーをみせることができました。また、新たな課題を確認することができ、これからの練習で改善してまいります。応援ありがとうございました。



卓球部

8月13日から17日まで富山県富山市総合体育館で行われたインターハイ・卓球競技に、学校対抗とシングルスで出場しました。学校対抗は、九州ブロック1位の強豪校との対戦となり1-3での惜敗でした。シングルスには1年生の西牧優衣が出場しました。

学校対抗の福島県大会で優勝し、多くの声援を受けてプレーすることができたのも、たくさんの方々サポートのおかげです。今後も感謝の気持ちを忘れず、さらに練習に励んでまいります。



弓道部

第48回東北総合体育大会弓道競技に、わたくし本田志乃は福島県代表として選出されました。ライバルだった他校の選手と福島チームが結成された時、期待と不安でいっぱいでしたが、

大会でした。個人競技に出場した3年の渡邊美理彩は個人総合18位、団体競技は33位という結果でした。今まで支えてくれた人たちに感謝の気持ちを伝えるため、心を込めて笑顔で演技をすることができました。ご声援をいただいた皆様に感謝いたします。



音楽科・合唱部

2年ぶりとなる定期演奏会を7月21日に開催しました。活動成果を久しぶりに発表する機会を持てたことは大きな実りとなりました。コロナ禍で制約の多い中ではありましたが感染対策を講じて練習を重ね、合唱部の女声合唱と音楽科の独奏やアンサンブルなど様々なプログラムを披露することができました。人前で演奏させていただく機会を通して得るものの大きさを改めて実感した一日となりました。今後も音楽活動の充実を図ることができるよう工夫してまいります。



それぞれの個性を発揮し、その花が持つ一番美しい姿を引き出すことを目指し、シンプルな花材を立体的に表現してきました。



研究部

研究部ではプログラミングを用いた「郡山すごろく」の作成と、都内にある十文字高校とのSDGsの達成に向けた取り組みを行っています。すごろくは、園児・児童が校外学習へ行けなくても郡山について理解を深められるよう工夫しながら部員全員で作成しました。SDGsでは1、2年生が中心となり様々なコンテストの応募に向け、オンラインを活用して話し合いを行っています。2つの活動を通して、私たちにできる地域貢献を目標に頑張っています。



大会結果・報告

令和3年度福島県高等学校体育大会

【卓球部】

開催日...5月28日~31日
場所...猪苗代町カメリーナ

第1位 インターハイ出場
第3位 西牧優衣(1年)
インターハイ出場

第3位 櫻村朱里(3年)・千葉珠音(1年)組

【新体操部】
開催日...5月28日~30日
場所...あづま総合体育館

第1位 インターハイ出場
第3位 渡辺美里彩(3年)
インターハイ出場

第4位 橋本つづみ(2年)
第6位 大橋萌(3年)

【バレーボール部】
開催日...5月28日~31日
場所...郡山総合体育館

第1位 インターハイ出場
第3位 三瓶詞乃美(2年)
第5位 井上由海(2年)

【陸上競技部】
開催日...5月28日~31日
場所...いわき陸上競技場

第3位 東北大会出場
第4位 東北大会出場
第4位 東北大会出場

第4位 東北大会出場
第4位 東北大会出場

第3位 三高玲奈(2年)
東北大会出場

第3位 佐々木さくら(3年)東北大会出場
第7位 橋本暖亜(3年)
円盤投げ
第2位 國分倫佳(3年)
東北大会出場

第8位 國分倫佳(3年)
第8位 國分倫佳(3年)
第7位 芳賀香菜美(2年)
第7位 芳賀香菜美(2年)
第8位 伊東舞莉彩(2年)
第8位 伊東舞莉彩(2年)

【ハンドボール部】
開催日...6月4日~7日
場所...あづま総合体育館

第1位 インターハイ出場
第1位 インターハイ出場

【剣道部】
開催日...6月4日~7日
場所...郡山総合体育館

第2位
女子個人 第3位 三留綾華(3年)
ベスト16 井上由海(2年)

【弓道部】
開催日...6月4日~7日
場所...郡山総合体育館

第2位
女子個人 第3位 三留綾華(3年)
ベスト16 井上由海(2年)

【新体操部】
開催日...7月2日
場所...あづま総合体育館

第1位 谷田川七海(3年)澤口琴音(3年)本田志乃(3年)東北総体選手 井上由海(3年)

【バレーボール部】
開催日...7月2日~4日
場所...本宮総合体育館

第1位 9名東北総体選手
斎藤叶実(3年)鈴木麻美子(3年)堀江未来(3年)新方里桜(3年)添田琴美(3年)西村藍(3年)南條沙莉(2年)添田結愛(2年)大和田七海(2年)

【剣道部】
開催日...7月3日~4日
場所...あづま総合体育館

第2位 渡部柚(1年)東北総体選手
第3位 三瓶詞乃美(2年)
第5位 井上由海(2年)

【テニス部】
開催日...7月3日~5日
場所...あづま総合体育館

第3位 吉田咲穂(1年)
令和3年度北信越高校総体(インターハイ)

【バレーボール部】
開催日...7月28日~31日
場所...いわき総合体育館

第3位 吉田咲穂(1年)
令和3年度北信越高校総体(インターハイ)

【卓球部】
開催日...8月13日~17日
場所...富山市総合体育館

第1回戦 本校1-3 希望が丘(福岡)
女子シングルス
1回戦 西牧優衣(1年)0-3 王芸珠
1回戦 福島県立羽水高校体育館

【新体操部】
開催日...8月16日~21日
場所...福島県立羽水高校体育館

第1回戦 本校27-28 熊本国府
【新体操部】
開催日...8月21日~22日
場所...新潟市東総合スポーツセンター

第2位
女子個人 18位 渡邊美理彩(3年)
令和3年度東北総合体育大会

【新体操部】
開催日...7月15日~17日
場所...山形県総合運動公園体育館

第2位
女子個人 18位 渡邊美理彩(3年)
令和3年度東北総合体育大会

【新体操部】
開催日...7月15日~17日
場所...山形県総合運動公園体育館

第2位
女子個人 18位 渡邊美理彩(3年)
令和3年度東北総合体育大会

【新体操部】
開催日...7月15日~17日
場所...山形県総合運動公園体育館

第2位
女子個人 18位 渡邊美理彩(3年)
令和3年度東北総合体育大会

【新体操部】
開催日...7月15日~17日
場所...山形県総合運動公園体育館

第2位
女子個人 18位 渡邊美理彩(3年)
令和3年度東北総合体育大会

「無事、発掘調査は終了しました」。この報告を学長先生にできたことを誇りに思います。ここまでの2年半はコロナとの闘いでした。

今年度は平安時代の竪穴住居1棟と福島県内最古の後期旧石器時代石器資料約20点を得ることができました。竪穴住居はクロピットを持つ土師器製作工房で笹山原では4軒目。これまで見つかった住居と異なるのは、土器を連ねた煙道を持つ点です。平安時代の竪穴住居には炊

短期大学部地域創成学科の考古学実習で、会津若松市笹山原遺跡No.16発掘調査が9月13日から6日間行われた。指導に当たった會田容弘教授の報告を掲載する。

煙道持つ住居発見

地域創成学科考古学実習
笹山原遺跡を調査

事用のカマドがあります。カマドで火を焚くと煙が出るので煙突が必要。普通は穴を掘ったただけの煙突ですが、今回見つかったのは土器を4個もつなげた煙突です。3つは横倒し。最後の1つは直立し、煙を出す構造になっています。直立した煙突は若干、東を向いています。西からの風が入らないように工夫しているのです。

調査に参加した地域創成学科2年生、専攻科文化学専攻1・2年生は宿泊組と通勤組に分かれました。通勤組は学園バスで郡山から毎日通つてもらいました。これも安全を担保するための方策。1日は台風接近により作業を休んだ日がありましたが、天候には恵まれました。



笹山原遺跡の発掘調査に当たる学生=会津若松市湊町

郡山女子大学陸上競技部に所属する野木玲那さん(食物栄養学科2年)は今年度、県内外での各大会に出場した。100メートル、200メートルの短距離を専門に、自己記録の更新を目指してトレーニングを積んでいる。今季は日本学生陸上競技対抗選手権(インカレ)に初出場。東北学生陸上競技対抗選手権大会の200メートルで第3位に入るなど健闘した。写真Ⅱ。主な成績は次の通り。



大学陸上部
野木玲那さん活躍

- 第74回東北学生陸上競技対抗選手権大会
開催日…6月12日～14日
場所…秋田県立中央公園園営陸上競技場
▽100メートル 第5位 12秒28
▽200メートル 第3位 25秒53
第43回北日本学生陸上競技対抗選手権大会
開催日…7月3日～4日
場所…新潟市陸上競技場
▽100メートル 第6位 12秒21
▽200メートル 第2位 25秒60
令和3年度福島県総合体育大会兼第76回福島県陸上競技選手権大会
開催日…7月15日～18日
場所…いわき市陸上競技場
▽100メートル 第2位 12秒33
▽200メートル 第4位 25秒58
第90回日本学生陸上競技対抗選手権大会
開催日…9月16日～18日
場所…埼玉県熊谷スポーツ文化公園陸上競技場
▽100メートル予選 第5位 12秒45 敗退



私たちは8月16日から福島県で行われたインターハイに出場しました。初戦で熊本県代表の熊本国府高校と戦い、接戦の末、27-28の1点差で惜敗しました。結果は自分たちの目標に届きませんでした。この大会を通して、同じ目標に向かってともに戦った仲間の存在の偉大さに気付くことができました。この

新体操部8名は、8月21、22日に新潟県新潟市で開催されたインターハイに出場しました。2年ぶりに開催されたインターハイは2、3年生にとつて念願の

新体操部



国民体育大会に出場する大きな目標に向け一致団結し、大会に臨むことができました。結果は少年女子の部「優勝」という輝かしい成績を勝ち取ることができました。しかし、大会期間中に国体中止の報道が流れ、頭の中が真っ白になりました。これまで多くの人たちに支えてもらって弓道をする事ができたことに感謝し、今大会を良い思い出にしたいと思います。

華道部



小原流華道教授・佐藤道馨先生のご指導の下、小原流生け花の基本のかたちを学んでいます。華道部員61名の中から、3年食物科・武田萌英さん、2年食物科・加藤愛梨さん、1年普通科・成田美咲さんが選ばれ、第5回宮城地区・学生いけばな競技会に出場してまいりました。加藤さん、成田さんが佳作を受賞しました。3名はそれ

夢の東京五輪で選手をエスコート

附属高校新体操部

附属高校新体操部の2、3年生6名は、8月8日に行われた東京オリンピック新体操競技団体決勝において「高校生エスコート」を務めました。1年の延期で開催が懸念されましたが、世界のトップ選手たちを夢の舞台でエスコートできたことは、一生の宝物となりました。選手の演技をする姿を見



ていつも前向きに強い気持ちを持って歩んでいく勇気をもらいました。素晴らしい機会をいただいたことに深く感謝いたします。



場所…福島県立総合運動公園体育館
【テニス部】 第5位
開催日…6月4日～7日
場所…郡山庭球場 牡丹台、空港公園
▽女子団体 ベスト8
▽個人ダブルス ベスト16
今泉璃乃(3年)・樽川真奈(3年)組
令和3年度福島県総合体育大会
【新体操部】
開催日…6月10日～12日

場所…山形県総合運動公園体育館
福島県少年女子
▽女子団体総合 第5位
▽女子団体 第3位 渡邊美理彩(3年)
▽リボン 第3位 大橋萌(3年)
開催日…8月21日～22日
場所…山形市総合スポーツセンター
福島県少年女子
▽女子団体 第1位 本田志乃(3年)が本県選手で出場
【剣道部】
開催日…8月20日
場所…山形県寒河江市市民体育館
福島県少年女子
▽女子団体 第3位 渡部柚(1年)が本県選手で出場
【バレーボール部】
開催日…8月20日～22日
場所…山形県総合運動公園体育館
福島県少年女子
▽女子団体 第4位
【ハンドボール部】
福島県少年女子
▽女子団体 新型コロナウイルス感染拡大により中止
【陸上競技部】
福島県少年女子
▽800メートル 佐々木さら(3年)新型コロナウイルス感染拡大により中止

学校法人 郡山開成学園

令和2年度 事業報告

一、法人の概要

(1)建学の精神
 本学園は、建学の精神「尊敬」「責任」「自由」を教育目標としている。それは、お互いの個性を尊重し、敬愛できる豊かな人柄を創り他者においてそれを認めることそして人間として存在するために、責任ある行動で社会への自覚を持つこと。つまり、個性を重視し、互いに理解する「個の確立」と「他との協調」をもつて、自主・自立できる女性としての人間育成を図るのが目的である。

(2)学校法人の沿革
 ○法人名 学校法人郡山開成学園
 (創立：昭和22年4月22日)
 ○所在地 福島県郡山市開成三丁目25番2号
 ○代表者 理事長 関 口 修
 ○設置学校名
 郡山女子大学大学院
 開設：修士課程平成4年4月
 博士課程平成8年4月
 郡山女子大学
 開設：昭和41年4月
 郡山女子大学短期大学部
 開設：昭和25年4月
 郡山女子大学附属高等学校
 開設：昭和32年4月
 郡山女子大学附属幼稚園
 開設：昭和30年4月

○学校長名
 郡山女子大学
 学長 関 口 修
 郡山女子大学短期大学部
 学長 関 口 修
 郡山女子大学附属高等学校
 校長 佐々木 貞子
 郡山女子大学附属幼稚園
 園長 賀 門 康 博

(3)学校・学部・学科等の入学定員、学生数の状況(令和2年5月1日現在)
 在籍総数……………1,496名
 前年度比……………7名増
 学則等収容定員……………2,259名
 ○在籍数一覧 表①参照
 (4)役員等(令和2年5月1日現在)
 理事10人・監事2人・評議員22人
 理事会8回開催、評議員会4回開催、監事監査1回実施、会計士監査1回実施

(5)教職員数(令和2年5月1日現在)
 表②参照

二、事業の概要(当該年度)

本学の建学の精神である「尊敬・責任・自由」と学園の基本方針である「品位高尚」「秩序儉約」「創造自立」を根幹として、それぞれの学校、学科、部署等において計画した教育並びに運営に関する事項を実施した。

(1)教育等実施内容

部署毎に年度当初に立てた計画(Plan)に基づき、実施(Do)、評価(Check)、改善(Act)のPDCAサイクルに従い、教育活動並びに事務活動を行った。
 (2)令和2年度入学者・入園児数
 大学院2名・大学95名・3年編入学7名・短大260名・専攻科3名・高校163名・幼稚園34名 計564名(前年度比：3名増)
 (3)令和2年度修了生・卒業生
 大学院1名・大学74名・短大239名・専攻科5名・高校139名・幼稚園50名 計508名
 (4)学園全体で実施した主な事業
 ・令和2年度当初学園全体職員会
 ・令和2年度郡山開成学園家族会総会(書面開催)
 ・第74回もみじ会(学生教職員のみ)
 ・令和3年度大学入学共通テスト(会場校)
 ・令和2年度自己点検報告会
 ・令和2年度末学園全体職員会
 ・令和3年度新任式

表① 院生・学生・生徒・園児在籍総数
 [1,496名:前年度比7名増]
 学則等収容定員 [2,259名]

課程名	在籍数	入学定員	在 籍 学 生 数					収容定員
			(第1)	(第2)	(第3)	(第4)	(第5)	
修 士 課 程	10	2	1	1	1	1	1	3
博 士 課 程	3	1	1	1	1	1	1	1
合 計	13	3	2	2	2	2	2	4

学科名	在籍数	入学定員	編入定員	在 籍 学 生 数					収容定員
				1年次	2年次	3年次	4年次	合 計	
人間生活学科	40	10	37	21	16	21	95	180	180
食物栄養学科	80	10	58	58	76	59	251	340	340
合 計	120	20	95	79	92	80	346	520	520

(含編入定員40名)

学科名	在籍数	入学定員	在 籍 学 生 数		収容定員
			1年次	2年次	
健康栄養学科	70	39	39	30	69
幼児教育学科	140	144	140	284	280
地域創成学科	80	79	74	153	160
合 計	290	262	244	506	580

専攻科	文化学専攻	10	3	6	9	20
-----	-------	----	---	---	---	----

学科名	在籍数	入学定員(校則)	在 籍 学 生 数				収容定員(校則)
			1学年	2学年	3学年	合 計	
普 通 科	240	99	111	77	287	720	720
音 楽 科	20	8	10	14	32	60	60
美 術 科	20	17	17	9	43	60	60
食 物 科	40	39	39	39	117	120	120
合 計	320	163	177	139	479	960	960

年令別	在籍数	在 籍 園 児 数			31年4月入園児数	収容定員
		男	女	合 計		
3 才 児	26	28	54	31	50	50
4 才 児	22	28	50	11	50	50
5 才 児	27	21	48	2	50	50
合 計	75	77	152	44	150	150

表② 教職員数(令和2年5月1日現在)

学校別	教員数	職員数	非常勤	合計
郡山女子大学	35	22	28	85
郡山女子大学短期大学部	39	32	36	107
郡山女子大学附属高等学校	39	9	26	74
郡山女子大学附属幼稚園	11	1	14	26
計	124	64	104	292

◇放送大学福島学習センター出向職員 5名

(以下、新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

・学園創立74周年記念式典(大学・短大・高校)
 ・家族会役員・常任委員会合同委員会
 ・家族会方別別教育懇談会(郡山方別教育懇談会ほか)
 ・郡山うねめまつり「うねめ踊り流し」参加(大学・短大・高校等)

(5)大学院 大学・短大で実施した主な事業
 ・新入生オリエンテーション(学内)
 ・大学院第27回、大学第55回、短大第71回 専攻科第21回入学式
 ・関口育英奨学生認定式(大学8名、短大11名)

・特待生認定式(大学5名、短大4名)
 ・第1～3回高大連携基礎能力適性調査
 ・令和3年度大学・短大入学者選抜実施内容及び教育内容等説明会
 ・第1～6回オープンキャンパス(参加者計1263名)
 ・同窓会奨学生認定式(大学6名、短大8名)

・大学第90回、短大第126回学友会総会(書面決議)
 ・第56回学園教育充実研究会(大学・短大、事務局)
 ・学内企業説明会
 ・大学院第26回、大学第52回卒業式
 ・短大第70回、専攻科第20回卒業式(午前午後に分けて開催)

(以下、新型コロナウイルス感染症の影響により中止)
 ・始業式
 ・新入生学外オリエンテーション
 ・KGCサマリーフレッシュプログラム
 ・大学・短大 大運動会
 ・ミニオープンキャンパス

○その他の実施内容
 主任・大学・短大教授会・研究科委員会(月1回)、入試判定会議、教務委員会

員会、学生生活委員会、就職委員会・担当者会議 図書館運営委員会、期末試験、教育実習、臨地実習、健康診断、学生相談、卒業研究発表、就職ガイダンス(6回)、公務員試験対策講座(3回)、就職模擬試験(2回)、職業適性検査・解説、インターンシップ(単位認定型)、

○令和2年度卒業生就職状況
 「大学」就職希望者72人 就職決定者数71人(就職率98.6%)
 「短大」就職希望者211人 就職決定者数211人(就職率100%)

(6)附属高等学校
 「私を創るー未来の私を考えてー」の努力目標を掲げ、生徒一人ひとりが自分の目標を設定し、高校生活をより有意義に送るために、生徒の自己啓発と自覚性を育成する観点から、全教員が一人として取り組んだ。

○実施した主な事業
 ・第64回入学式・同窓会奨学生認定式(6人)
 ・学校見学会
 ・入試内容説明会
 ・美術科卒業作品展・食物科卒業発表会・音楽科卒業演奏会
 ・令和3年度入学者選考会
 ・第62回卒業式

(以下、新型コロナウイルス感染症の影響により中止)
 ・新入生歓迎会・高校大運動会・第2学年修学旅行・第33回附属高等学校長杯中学校女子バレーボール大会

○その他の実施内容
 運営委員会、職員会議(月1回)、考査、進路別説明会、集会・表彰報告会・壮行会等

(7)附属幼稚園
 「よくみる よくきく よくかんがえて」を教育目標として、教職員全員が一人として、園児一人一人にきめ細かい保育と基本的な生活習慣を身につけさせるとともに集団での遊びにも力を入れて保育を行った。

○実施した主な事業
 ・第66回入園式
 ・創立記念日のお集まり
 ・学園教育充実研究会 幼稚園部会
 ・令和3年度入園説明会・入園面接
 ・ほくとわたしの発表会
 ・第66回卒園式

○その他の実施内容
 ハロウィンパーティクリスマス会、おもちつき、お別れ会食、ひなまつり、KGCマミークラブ、延長保育、学童保育など
 (以下、新型コロナウイルス感染症の影響により中止)
 ・おじいさんおばあさんの参観・父母の講座
 (8)家庭室(令和2年度在寮生90名)
 新入寮生オリエンテーション、リーダー会議(月1回、七夕会、いも煮会)

(9)大学図書館(高校分館を含む)
 運営委員会蔵書点検 選書ツアー、郡山女子大学ヒトリオバトル
 (10)保健室
 定期健康診断(大学・短大生、高校生、幼稚園児、教職員)、ストレスチェック

(11)学園創立者関口育英奨学生の採用
 令和2年度 大学生11名、短大生11名、高校生28名 計50名
 (12)学生・生徒・園児募集
 大学・短大進学相談会(会場式、WEB)、高等学校訪問 大学・短大オープンキャンパス、附属高校見学会、園児募集(ハフレット)、学生・生徒・園児募集のための学校案内の作成、ホームページの更新

(13)部活動及び応募等の活躍状況
 ○高校
 ・第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会「春の高校バレー」県代表決定戦 第1位 全国大会出場
 ・第66回福島県高校体育大会新体操競技代替大会 文部科学大臣特別賞他
 ・福島県高等学校新人体育大会新体操競技 団体第1位、個人総合第2位他
 ・福島県高等学校新人体育大会ハンドボール競技 第1位
 ・第44回全国高等学校ハンドボール選抜大会出場(コロナ禍に伴い大会中止)
 ・第48回東北高等学校選抜卓球大会
 ・学校対抗第5位
 ・第48回全国高等学校選抜卓球大会出場(2年ぶり3回目)
 ・福島県高等学校新人体育大会剣道競技 女子団体第1位、女子個人戦5名出場
 ・第33回東北高等学校剣道選抜優勝大会 女子団体ベスト8
 ・第31回県南ジュニアダブルス選

手権大会 個人戦ダブルス第2位他
 ・第66回福島県高校体育大会陸上競技代替大会800m第2位、スポーツ庁長官特別賞
 ・第38回福島県高校駅伝競走大会 第7位
 ・第39回東北高等学校弓道選抜大会 女子団体第3位
 ・第39回全国高等学校弓道選抜大会 女子団体出場
 ・第49回マーチングバンド・パトントワリング東北大会 金賞
 ・第48回マーチングバンド全国大会グッドミュージック賞
 ・第74回福島県合唱コンクール 銀賞
 ・第15回西会津国際芸術村公募展2020 西会津町長賞他
 ・生ごみ減量1減るしいレシビコンクー 優秀賞2名
 ・食肉惣菜創作発表会 最優秀賞・全国大会出場
 ○大学・短大
 ・第33回きのこ料理コンクール全国大会 入賞
 ・第5回福島県きのこ料理コンクール 知事賞
 ・第49回東北学生陸上競技選手権大会 女子200m 第1位
 ・第73回福島県総合体育大会スケート(スピード)競技 成年女子500m・1000m 第1位

(14)安全管理
 ・教職員・寮生向け初期消火訓練を実施
 ・安全防災訓練にて身の安全確保並びに避難訓練を実施

(15)施設・設備関係
 施設・設備の整備は、安全性・災害対策等とアメニティ(快適な空間)に配慮した教育研究環境の整備を優先順位により実施

(16)環境関係
 第24回「環境コミュニケーション」大賞環境経営レポート部門 郡山開成学園が優秀賞受賞

(17)その他
 ○家族会等
 家族会役員会(4月)、家族会総会(5月)いずれも書面開催
 ○芸術鑑賞講座
 ①斎 正機展
 ②郡山女子大学のブロンズ像鑑賞(解説冊子付)
 ③映画鑑賞会 Fukushima50
 ○教養講座
 ①「学園創立者 故関口富左名譽学園長が構築された家政哲学について」影山彌 氏(本学名誉教授)
 ②「宗教とは(仏教)」石田宏寿氏(僧侶、本学評議員)

手権大会 個人戦ダブルス第2位他
 ・第66回福島県高校体育大会陸上競技代替大会800m第2位、スポーツ庁長官特別賞
 ・第38回福島県高校駅伝競走大会 第7位
 ・第39回東北高等学校弓道選抜大会 女子団体第3位
 ・第39回全国高等学校弓道選抜大会 女子団体出場
 ・第49回マーチングバンド・パトントワリング東北大会 金賞
 ・第48回マーチングバンド全国大会グッドミュージック賞
 ・第74回福島県合唱コンクール 銀賞
 ・第15回西会津国際芸術村公募展2020 西会津町長賞他
 ・生ごみ減量1減るしいレシビコンクー 優秀賞2名
 ・食肉惣菜創作発表会 最優秀賞・全国大会出場
 ○大学・短大
 ・第33回きのこ料理コンクール全国大会 入賞
 ・第5回福島県きのこ料理コンクール 知事賞
 ・第49回東北学生陸上競技選手権大会 女子200m 第1位
 ・第73回福島県総合体育大会スケート(スピード)競技 成年女子500m・1000m 第1位

(14)安全管理
 ・教職員・寮生向け初期消火訓練を実施
 ・安全防災訓練にて身の安全確保並びに避難訓練を実施

(15)施設・設備関係
 施設・設備の整備は、安全性・災害対策等とアメニティ(快適な空間)に配慮した教育研究環境の整備を優先順位により実施

(16)環境関係
 第24回「環境コミュニケーション」大賞環境経営レポート部門 郡山開成学園が優秀賞受賞

(17)その他
 ○家族会等
 家族会役員会(4月)、家族会総会(5月)いずれも書面開催
 ○芸術鑑賞講座
 ①斎 正機展
 ②郡山女子大学のブロンズ像鑑賞(解説冊子付)
 ③映画鑑賞会 Fukushima50
 ○教養講座
 ①「学園創立者 故関口富左名譽学園長が構築された家政哲学について」影山彌 氏(本学名誉教授)
 ②「宗教とは(仏教)」石田宏寿氏(僧侶、本学評議員)

手権大会 個人戦ダブルス第2位他
 ・第66回福島県高校体育大会陸上競技代替大会800m第2位、スポーツ庁長官特別賞
 ・第38回福島県高校駅伝競走大会 第7位
 ・第39回東北高等学校弓道選抜大会 女子団体第3位
 ・第39回全国高等学校弓道選抜大会 女子団体出場
 ・第49回マーチングバンド・パトントワリング東北大会 金賞
 ・第48回マーチングバンド全国大会グッドミュージック賞
 ・第74回福島県合唱コンクール 銀賞
 ・第15回西会津国際芸術村公募展2020 西会津町長賞他
 ・生ごみ減量1減るしいレシビコンクー 優秀賞2名
 ・食肉惣菜創作発表会 最優秀賞・全国大会出場
 ○大学・短大
 ・第33回きのこ料理コンクール全国大会 入賞
 ・第5回福島県きのこ料理コンクール 知事賞
 ・第49回東北学生陸上競技選手権大会 女子200m 第1位
 ・第73回福島県総合体育大会スケート(スピード)競技 成年女子500m・1000m 第1位

(14)安全管理
 ・教職員・寮生向け初期消火訓練を実施
 ・安全防災訓練にて身の安全確保並びに避難訓練を実施

(15)施設・設備関係
 施設・設備の整備は、安全性・災害対策等とアメニティ(快適な空間)に配慮した教育研究環境の整備を優先順位により実施

(16)環境関係
 第24回「環境コミュニケーション」大賞環境経営レポート部門 郡山開成学園が優秀賞受賞

(17)その他
 ○家族会等
 家族会役員会(4月)、家族会総会(5月)いずれも書面開催
 ○芸術鑑賞講座
 ①斎 正機展
 ②郡山女子大学のブロンズ像鑑賞(解説冊子付)
 ③映画鑑賞会 Fukushima50
 ○教養講座
 ①「学園創立者 故関口富左名譽学園長が構築された家政哲学について」影山彌 氏(本学名誉教授)
 ②「宗教とは(仏教)」石田宏寿氏(僧侶、本学評議員)

① 資金収支計算書

資金収支計算書について、その主な内容をご報告いたします。
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

	科 目	(単位：円)		
		予 算	決 算	差 異
〔収入の部〕	学生生徒等納付金収入	1,214,841,000	1,215,061,400	△ 220,400
	手数料収入	18,804,000	18,033,023	770,977
	寄付金収入	8,302,000	9,112,000	△ 810,000
	補助金収入	856,599,000	854,159,157	2,439,843
	国庫補助金収入	565,404,000	567,020,700	△ 1,616,700
	地方公共団体(県)補助金収入	282,933,000	278,876,700	4,056,300
	地方公共団体(市)補助金収入	4,928,000	4,928,000	0
	地方公共団体(町)補助金収入	1,800,000	1,800,000	0
	福島県学術教育振興財助成金収入	1,534,000	1,533,757	243
	資産売却収入	100,100,000	100,000,000	100,000
	付随事業・収益事業収入	86,041,000	87,065,548	△ 1,024,548
	受取利息・配当金収入	18,163,000	18,865,798	△ 702,798
	雑収入	118,688,000	130,946,062	△ 12,258,062
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	347,773,000	354,323,100	△ 6,550,100
〔支出の部〕	その他の収入	185,459,903	204,337,745	△ 18,877,842
	資金収入調整勘定	△ 472,146,000	△ 466,940,662	△ 5,205,338
	前年度繰越支払資金	682,220,097	682,220,097	—
収入の部 合計		3,164,845,000	3,207,183,268	△ 42,338,268

	科 目	(単位：円)		
		予 算	決 算	差 異
〔収入の部〕	人件費支出	1,625,632,000	1,627,978,425	△ 2,346,425
	教育研究経費支出	540,197,000	539,125,244	1,071,756
	管理経費支出	187,324,000	184,441,511	2,882,489
	借入金等利息支出	0	0	0
	借入金等返済支出	0	0	0
	施設関係支出	57,912,000	62,537,700	△ 4,625,700
	設備関係支出	55,770,000	106,872,498	△ 51,102,498
	資産運用支出	106,165,000	106,859,842	△ 694,842
	その他の支出	167,083,667	172,496,737	△ 5,413,070
	予備費	7,900,000		7,900,000
	資金支出調整勘定	△ 70,726,000	△ 68,640,567	△ 2,085,433
	翌年度繰越支払資金	495,487,333	475,511,878	19,975,455
	支出の部 合計	3,164,845,000	3,207,183,268	△ 42,338,268

④ 貸借対照表

貸借対照表について、その主な内容をご報告いたします。
令和3年3月31日現在

	科 目	(単位：円)		
		本年度末	前年度末	増 減
〔資産の部〕	固定資産	7,032,057,979	7,223,670,142	△ 191,612,163
	有形固定資産	6,011,922,802	6,179,033,144	△ 167,110,342
	土地	2,745,140,681	2,745,140,681	0
	建物	2,238,871,653	2,448,496,763	△ 209,625,110
	構築物他	1,027,910,468	985,395,700	42,514,768
	特定資産	493,426,942	506,173,040	△ 12,746,098
	郡山開成学園創立者関口育英奨学金引当特定資産	462,637,942	472,581,174	△ 9,943,232
	同窓会奨学金引当特定資産	30,789,000	33,591,866	△ 2,802,866
	その他の固定資産	526,708,235	538,463,958	△ 11,755,723
	有価証券	500,000,000	500,000,000	0
	ソフトウェア他	26,708,235	38,463,958	△ 11,755,723
	流動資産	587,306,110	775,999,809	△ 188,693,699
	現金預金	475,511,878	682,220,097	△ 206,708,219
	未収入金他	111,794,232	93,779,712	18,014,520
	資産の部合計	7,619,364,089	7,999,669,951	△ 380,305,862

	科 目	(単位：円)		
		本年度末	前年度末	増 減
〔負債の部〕	固定負債	1,116,696,162	1,135,436,194	△ 18,740,032
	長期未払金	149,681,343	183,244,172	△ 33,562,829
	退職給与引当金	967,014,819	952,192,022	14,822,797
	流動負債	547,478,589	527,643,167	19,835,422
	前受金	354,323,100	365,304,500	△ 10,981,400
〔純資産の部〕	預り金他	193,155,489	162,338,667	30,816,822
	負債の部合計	1,664,174,751	1,663,079,361	1,095,390

	科 目	本年度末	前年度末	増 減
〔純資産の部〕	基本金	15,655,983,703	15,478,591,468	177,392,235
	第1号基本金	15,455,983,703	15,278,591,468	177,392,235
	第4号基本金	200,000,000	200,000,000	0
	繰越収支差額	△ 9,700,794,365	△ 9,142,000,878	△ 558,793,487
	翌年度繰越収支差額	△ 9,700,794,365	△ 9,142,000,878	△ 558,793,487
	純資産の部合計	5,955,189,338	6,336,590,590	△ 381,401,252
	負債及び純資産の部合計	7,619,364,089	7,999,669,951	△ 380,305,862
参考	減価償却の累計額	9,647,237,339	9,313,903,877	333,333,462

⑤ 財産目録総括表

財産目録について、その主な内容をご報告いたします。
令和3年3月31日現在

	科 目	(単位：円)		
		金 額	備 考	
基本財産	土地	181,861.30㎡	2,745,140,681	
	建物	50,815.84㎡	2,238,871,653	減価償却累計額 7,422,065,899
	構築物	297点	72,540,100	減価償却累計額 719,814,251
	教育研究用機器備品	12,257点	438,618,210	減価償却累計額 1,379,400,369
	管理用機器備品	688点	10,775,744	減価償却累計額 44,761,551
	図書	161,186冊	492,595,924	
	車両	4台	6,505,490	減価償却累計額 17,692,479
	建設仮勘定		6,875,000	
	水道施設利用権		0	減価償却累計額 18,765,590
	借地権		980,389	
	電話加入権		2,918,498	
	ソフトウェア	5件	22,299,348	減価償却累計額 44,737,200
	運用財産		1,581,243,052	
	現金・預金		475,511,878	預入先 東邦銀行他4行
	有価証券		500,000,000	
運用財産	出資金		460,000	郡山信用金庫他
	育英奨学金基金引当特定資産		462,637,942	
	同窓会奨学金引当特定資産		30,789,000	
	未収入金		101,636,162	退職金財団交付金他
	前払金		121,800	
	その他の資産		10,086,270	立替金他
	資産合計		7,619,364,089	
	固定負債		1,116,696,162	
	退職給与引当金		967,014,819	退職給与に係る見積債務額
	長期未払金		149,681,343	
	流動負債		547,478,589	
	未払金		101,983,786	
	前受金		354,323,100	令和3年度生入学金等
	預り金		91,171,703	
	負債合計		1,664,174,751	
	差引正味財産		5,955,189,338	

令和2年度事業活動収支計算書において、事業活動収入合計より事業活動支出合計が大きい、基本金組入前当年度収支差額は、△381,401千円となり、基本金組入額合計△177,392千円を加えた当年度収支差額は△558,793千円となりました。従って、当年度収支差額△558,793千円に、前年度繰越収支差額△9,700,794千円を加えた翌年度繰越収支差額は、△10,259,587千円となりました。

令和2年度事業活動収支計算書において、事業活動収入合計より事業活動支出合計が大きい、基本金組入前当年度収支差額は、△381,401千円となり、基本金組入額合計△177,392千円を加えた当年度収支差額は△558,793千円となりました。従って、当年度収支差額△558,793千円に、前年度繰越収支差額△9,700,794千円を加えた翌年度繰越収支差額は、△10,259,587千円となりました。

令和2年度事業活動収支計算書において、事業活動収入合計より事業活動支出合計が大きい、基本金組入前当年度収支差額は、△381,401千円となり、基本金組入額合計△177,392千円を加えた当年度収支差額は△558,793千円となりました。従って、当年度収支差額△558,793千円に、前年度繰越収支差額△9,700,794千円を加えた翌年度繰越収支差額は、△10,259,587千円となりました。

③ 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書について、その主な内容をご報告いたします。
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

	科 目	(単位：円)		
		予 算	決 算	差 異
〔教育活動収入の部〕	学生生徒等納付金	1,214,841,000	1,215,061,400	△ 220,400
	手数料	18,804,000	18,033,023	770,977
	寄付金	8,302,000	9,254,120	△ 952,120
	經常費等補助金	816,086,000	813,073,895	3,012,105
	国庫補助金	526,398,000	527,464,069	△ 1,066,069
	地方公共団体(県)補助金	281,426,000	277,348,069	4,077,931
	地方公共団体(市)補助金	4,928,000	4,928,000	0
	地方公共団体(町)補助金	1,800,000	1,800,000	0
	福島県学術教育振興財助成金	1,534,000	1,533,757	243
	付随事業収入	86,041,000	87,065,548	△ 1,024,548
	雑収入	118,688,000	130,696,062	△ 12,008,062
	教育活動収入計	2,263,199,000	2,273,184,048	△ 9,985,048
〔事業活動支出の部〕	人件費	1,624,644,000	1,642,801,222	△ 18,157,222
	教育研究経費	863,231,000	883,827,751	△ 20,596,751
	管理経費	191,987,000	189,304,705	2,682,295
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	2,679,862,000	2,715,933,678	△ 36,071,678
〔教育活動収支差額〕	教育活動収支差額	△ 416,663,000	△ 442,749,630	26,086,630

	科 目	(単位：円)		
		予 算	決 算	差 異
〔教育活動外収入の部〕	受取利息・配当金	18,163,000	18,865,798	△ 702,798
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	18,163,000	18,865,798	△ 702,798
	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額	18,163,000	18,865,798	△ 702,798
	經常収支差額	△ 398,500,000	△ 423,883,832	25,383,832

	科 目	(単位：円)		
		予 算	決 算	差 異
〔特別収入の部〕	資産売却差額	100,000	0	100,000
	その他の特別収入	43,290,000	43,679,636	△ 389,636
	特別収入計	43,390,000	43,679,636	△ 289,636
	資産処分差額	1,100,000	1,186,056	△ 86,056
	その他の特別支出	11,000	11,000	0
	特別支出計	1,111,000	1,197,056	△ 86,056
	特別収支差額	42,279,000	42,482,580	△ 203,580
	(予備費)	(0)		0
	基本金組入前当年度収支差額	△ 357,221,000	△ 381,401,252	24,180,252
	基本金組入額合計	△ 116,459,000	△ 177,392,235	60,933,235
〔特別支出の部〕	当年度収支差額	△ 473,680,000	△ 558,793,487	85,113,487
	前年度繰越収支差額	△ 9,142,000,878	△ 9,142,000,878	0
	翌年度繰越収支差額	△ 9,615,680,878	△ 9,700,794,365	85,113,487
	(参考)			
	事業活動収入計	2,324,752,000	2,335,729,482	△ 10,977,482
〔特別収支差額〕	事業活動支出計	2,681,973,000	2,717,130,734	△ 35,157,734

令和2年度資金収支計算書において、前年度繰越支払資金を加えた資金収入合計は、3,207,183千円となり、予算より42,338千円上回りました。これは、雑収入、その他の収入、前受金収入で見込みを上回ったためです。

令和2年度資金収支計算書において、前年度繰越支払資金を加えた資金収入合計は、3,207,183千円となり、予算より42,338千円上回りました。これは、雑収入、その他の収入、前受金収入で見込みを上回ったためです。

令和2年度資金収支計算書において、前年度繰越支払資金を加えた資金収入合計は、3,207,183千円となり、予算より42,338千円上回りました。これは、雑収入、その他の収入、前受金収入で見込みを上回ったためです。

② 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書について、その主な内容をご報告いたします。
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

	科 目	(単位：円)	
		金 額	金 額
〔教育活動による資金収支〕	学生生徒等納付金収入	1,215,061,400	
	手数料収入	18,033,023	
	一般寄付金収入	9,112,000	
	經常費等補助金収入	813,073,895	
	付随事業収入	87,065,548	
	雑収入	130,696,062	
	教育活動資金収入計	2,273,041,928	
	人件費支出	1,627,978,425	
	教育研究経費支出	539,125,244	
	管理経費支出	184,430,511	
〔施設整備等活動による資金収支〕	教育活動資金支出計	2,351,534,180	
	差引	△ 78,492,252	
	調整勘定等	△ 8,779,063	
〔施設整備等活動による資金収支〕	教育活動資金収支差額	△ 87,271,315	

科 目		金 額
〔施設整備等活動による資金収支〕 （単位：円）	収入	
	施設設備補助金収入	41,085,262
	施設整備等活動資金収入計	41,085,262
	支出	
	施設関係支出	62,537,700
	設備関係支出	106,872,498
	施設整備等活動資金支出計	169,410,198
	差引	△ 128,324,936
	調整勘定等	△ 32,103,073
	施設整備等活動資金収支差額	△ 160,428,009
	小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）	△ 247,699,324

「時空をつなぐ布の力」展を開催
第213回芸術鑑賞講座

第213回芸術鑑賞講座「時空をつなぐ布の力」は9月14日から18日まで建学記念講堂で開かれた。

福島県立美術館学芸員や郡山市立美術館長を務めた美術史家・佐治ゆかり氏が長年にわたって収集した、江戸時代から昭和期に至る布や端切れで作られた着物、袋物など75点を展示した。佐治氏も会場を訪れ、解説した。

様々な布を継ぎ接ぎした着物は、一針一針に病魔から身を守る願いも込めた人々の思いが伝わった。

祭祀や仏事など用途に応じた袋物は、素材選びや接ぎ方に作った人の独自の工夫が見ら

れ、時代や地域性などの背景をうかがわせた。



学生たちに展示品を説明する佐治氏

開成学園美術展

第3回郡山開成学園美術展は8月11日から17日まで、郡山市うすい百貨店で開かれた。

短期大学部地域創成学科の学生8名をはじめ教員、卒業生、生涯学習講座の受講者らの作品計32点を展示した。

油彩、水彩、版画、グラフィック、彫刻など各自の個性があふれる作品が並んだ。開催の案内を受けた人や、買い物の途中で足を運んだ人らが熱心に出品者の力作に見入っていた。



学生、教員らの力作を披露した美術展

学友会「フードドライブ」

大学と短期大学の学友会は、家庭で食べ切れない食料品を必要とする人に届ける活動「フードドライブ」を始めた。

家庭で仕舞われたままの物や量が多過ぎて消費仕切れない物「もったいない」を、必要な人に提供して「ありがと」に替える取り組み。学生や教職員に呼び掛けて集めた品を必要としている学生や郡山市社会福祉協議会を通じて地域の人々へ還元する。

第1回の活動が9月13日から行われた。指定場所に米やパスタ、乾麺、レトルト食品、缶詰、調味料、コーヒール・紅茶、菓子などが次々に届けられた。学友

幼稚園バケツ稲

附属幼稚園の年長組(まつ組、やなぎ組)は、バケツを使った米作りに取り組んでいる。

新型コロナウイルスの影響で、附属高校生と一緒に活動した田植えなどが、昨年からできなくなった。このため、JA福島さくらの協力で、6月に園児がバケツに苗を植え、教室前で水やりをして大切に育てている。

ひと夏を越えた稲は園児の背丈以上に伸び、穂がついてきた。「おいしいお米が取れるかな」と、観察する園児たちの目は日に日に輝いている。



稲に水やりをする園児たち

会の担当者が組み合わせを考えて振り分け、支援希望の学生に提供した。

第2回の活動は11月に予定している。



食料品の提供を呼びかける学友会役員



新しい本が
届きました。
第17回

郡山女子大学
大学図書館

学生さんからリクエストのあった本をご紹介します。



絵はすぐに
上手にならない

成富ミヨリ著、
彩流社

請求記号
725.11Na



リボン

小川糸著、
ポプラ社

請求記号
913.611O



マンガでわかる!
認知症の人の
見ている世界

川畑智ほか著、
文響社

請求記号
493.75811Ka



まるごとわかる
世界遺産
「富岡製糸場と
絹産業遺産群」
建築ガイド

富岡製糸場
世界遺産伝道師
協会編、上毛新聞社

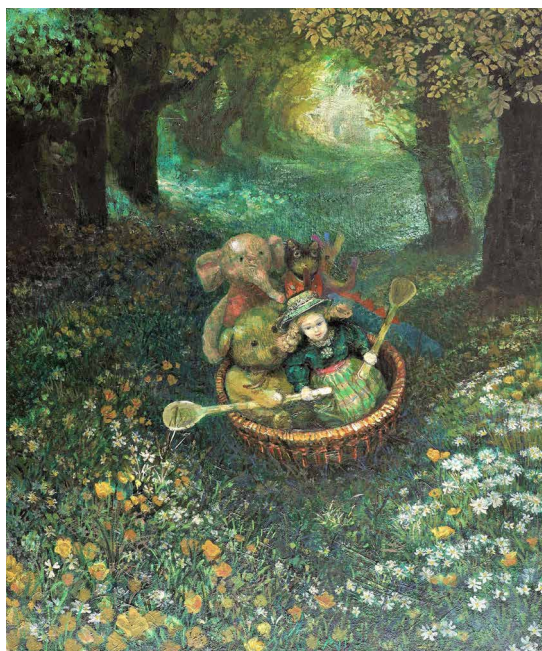
請求記号
632.1311To

木もれ陽

一人の力は小さくとも、人と人とが協力することによって大きな力を生むものです。

2002年私たちは中通り地区の複数の画廊と版画家たちとの共同企画として「班で発信する作家たち」展を立ち上げました。毎年秋の開催で、会期を同じくしての複数画廊での分散開催は当時としては他に例を見ないものでした。会を重ねる度に新しい企画が加わり、郡山市立美術館や諸橋近代美術館、白沢村(現本宮市)や天栄村など公的機関も巻き込んで、大きな広がりを遂げました。

そんな中、ある一人の女性との出会いから、2006年ポルトガルの版画家たちとの交流展を開催し、



「のあのはこぶね」

この作品は闘病中の友人を励ますつもりで描いた作品です。私は、幼児教育に携わる立場であることからなのか、制作動機が幼児の世界観に触発されることは少なくありません。優等生的な表現を捨て、解り易く共感できる表現を目指しました。稚拙な表現でも、臆面なく造形してしまう幼児の熱量や、新鮮な刺激・可能性に溢れた作品に倣って、病の友人に命の活力を送り込みたいという思いで描き切りました。

郡山女子大学短期大学部
幼児教育学科 准教授

早川 仁

2009年にはリスボンに新設されたオリエント美術館で「東洋との出会い」展と題して開催されました。一連の活動の締めくくりとして、2012年3月には、現代グラフィックアートセンターに「after 311」というサブタイトルをつけた展覧会を開催し、両国の参加作家全員の作品を集めた版画集「たましずめのうた」を刊行しました。その売上金は復興支援のための義援金として寄付され、会場にはポルトガル大使も来場されました。

人とのつながりが、自分の想いを超えた大きな力になることを実感した活動でした。これからも他者との協力を大切にしていきたいと思っています。

(洋)

本学所蔵 紙上美術展 95